

三重大学大学院
地域イノベーション学研究科博士前期課程
学生募集要項

2026年10月入学
(第二次募集)

2027年4月入学
(推薦・第一次募集・第二次募集)

2027年10月入学
(第一次募集)

自然災害や人為災害，感染症の全国的な拡大等の不測の事態への対応について

学生募集要項に記載のある出願期間，試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。

変更がある場合は，本研究科ウェブサイトのトップページにある「NEWS」にて掲載します。
最新情報を随時ご確認ください。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/>



【入学試験日程表】

2026年10月入学 第二次募集<社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜> 「注1」

2027年4月入学 <推薦による選抜>

内 容	日 程
障害等のある入学志願者との事前相談	2026年5月29日（金）まで
入学資格審査 申請期間	2026年4月27日（月）～5月21日（木）
入学資格審査 結果通知	2026年5月28日（木）以降
インターネット出願登録期間	2026年6月1日（月）～6月12日（金）
必要書類の提出期間（郵送又は持参）	2026年6月1日（月）～6月19日（金）
試験日	2026年7月10日（金）
合格者の発表	2026年7月24日（金）
入学手続き	2026年10月入学：2026年9月中旬 2027年4月入学：2027年3月中旬

2027年4月入学 第一次募集<一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜>

内 容	日 程
障害等のある入学志願者との事前相談	2026年7月24日（金）まで
入学資格審査 申請期間	2026年7月17日（金）～7月30日（木）
入学資格審査 結果通知	2026年8月4日（火）以降
インターネット出願登録期間	2026年8月17日（月）～8月28日（金）
必要書類の提出期間（郵送又は持参）	2026年8月17日（月）～9月4日（金）
試験日	2026年9月17日（木）
合格者の発表	2026年10月2日（金）
入学手続き	2027年3月中旬

2027年4月入学 第二次募集<一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜> 「注1」

2027年10月入学 第一次募集<社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜>

内 容	日 程
障害等のある入学志願者との事前相談	2026年10月30日（金）まで
入学資格審査 申請期間	2026年11月4日（水）～11月19日（木）
入学資格審査 結果通知	2026年11月26日（木）以降
インターネット出願登録期間	2026年12月1日（火）～12月14日（月）
必要書類の提出期間（郵送又は持参）	2026年12月1日（火）～12月21日（月）
試験日	2027年1月20日（水）
合格者の発表	2027年1月29日（金）
入学手続き	2027年4月入学：2027年3月中旬 2027年10月入学：2027年9月中旬

[注] 1. 第二次募集は、第一次募集で定員に満たなかった場合のみ行います。

目 次

三重大学大学院地域イノベーション学研究所 博士前期課程アドミッション・ポリシー	1
入学者選抜の概要	2
三重大学大学院地域イノベーション学研究所入試情報の案内	2
1. 入学定員（募集人員）	3
2. 選抜の方法	3
3. 出願資格	4
4. 入学資格審査	8
5. 出願手続	9
6. 出願上の注意事項	11
7. 障害等のある入学志願者との事前相談について	12
8. 受験票及び受験案内について	13
9. 受験に際しての注意事項	13
10. 不正行為の取扱いについて	15
11. 学力検査（筆記試験）及び口述試験の試験場	16
12. 配点・評価基準	17
13. 過去の入学試験問題について	17
14. 合格発表	17
15. 入学手続	18
16. 入学金及び授業料	18
17. 入学金及び授業料の免除・徴収猶予、奨学金について	18
18. 追加合格、欠員補充について	19
19. 個人情報の利用目的について	19
20. 長期履修学生制度について（要申請）	20
21. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について	21
22. 教員免許について	21
23. 三重大学私費外国人特待留学生制度（入学金及び授業料免除型）募集要項	22
24. 教育研究分野	23
25. 連携大学院	24
26. 博士前期課程の学位取得までの履修モデル	25
27. その他	29
28. 各種問合せ先	29

博士前期課程 アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

地域イノベーション学研究科は、地域のニーズを発見し、問題を解決するための新しい概念と方法を創造し、それらを国内のみならず海外にも展開できる地域イノベーション学に関わる高度な思考方法と実現方法を教育します。そして、「多面的な視野で研究・開発が推進できる能力とプロジェクト・マネジメントが実践できる高度な能力を兼ね備えた人材」及び「地域にゼロから1を創造できる社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）人材」を養成します。

～このような人を育てます～

専門分野における研究開発や新事業の創出を担当者として遂行できる基礎的研究能力とマネジメント能力を兼ね備えた人を育てます。

～このような人を求めます～

1. 大学学部等で修得した学習内容を幅広く理解し、基礎的な専門知識と外国語力を身につけている人
2. 基本的なコミュニケーション力を身につけている人
3. 地域の問題について自ら感じ（感じる力）、問題解決方法を考え（考える力）、社会を発展させる（生きる力）意欲のある人
4. 国際的に通用する基礎的研究能力及びプレゼンテーション能力等の実践的なコミュニケーション力を修養する意欲のある人
5. 多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新事業の創出や、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人
6. 科学技術と社会の変革により、地域の企業や行政において新しい価値を創り出す「地域にゼロから1を創造できる社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）」となる意欲のある人

－入学者選抜方針－

・推薦による選抜

大学学部等の成績が優秀な学生を対象として、学修してきた内容を問うとともに、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力があり、プロジェクトマネジメント能力と研究開発能力を積極的に身につけて社会を発展させる意欲を持つ学生を口述試験によって選抜します。

・一般選抜

大学学部等で修得した学修内容を幅広く理解し、基礎的な外国語力を身につけており、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力があり、プロジェクトマネジメント能力と研究開発能力を積極的に身につけて社会を発展させる意欲を持つ学生を学力検査及び口述試験によって選抜します。

・社会人特別選抜

プロジェクトマネジメント能力と研究開発能力を積極的に身につけて社会を発展させる意欲を持ち、基礎的な外国語力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力がある社会人学生を学力検査及び口述試験によって選抜します。

・外国人留学生特別選抜

プロジェクトマネジメント能力と研究開発能力を積極的に身につけて社会を発展させる意欲を持ち、基礎的な外国語力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・理解力がある外国人留学生を学力検査及び口述試験によって選抜します。

入学者選抜の概要

区分	インターネット 出願登録期間	必要書類の提出期間 (郵送又は持参)	試験日	合格発表
2026年10月入学(第二次募集)「注1」 2027年4月入学(推薦による選抜)	2026年6月1日(月) ～ 2026年6月12日(金)	2026年6月1日(月) ～ 2026年6月19日(金)	2026年7月10日(金)	2026年7月24日(金) 10時頃
2027年4月入学(第一次募集)	2026年8月17日(月) ～ 2026年8月28日(金)	2026年8月17日(月) ～ 2026年9月4日(金)	2026年9月17日(木)	2026年10月2日(金) 10時頃
2027年4月入学(第二次募集)「注1」 2027年10月入学(第一次募集)	2026年12月1日(火) ～ 2026年12月14日(月)	2026年12月1日(火) ～ 2026年12月21日(月)	2027年1月20日(水)	2027年1月29日(金) 10時頃

[注] 1. 第二次募集は、第一次募集で定員に満たなかった場合のみ行います。

三重大学大学院地域イノベーション学研究科 入試情報の案内

■本研究科ウェブサイト <URL> <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/>

「入試情報」(<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/applicants/examinee/>)において、以下の情報等をお知らせしています。



- 学生募集要項
- インターネット出願
- 過去の入試問題、解答例及び出題意図
- 合格発表
- 入試説明会等の各種イベント案内
- 資料請求方法

1. 入学定員（募集人員） 「注1」

入学の時期	選抜の種類	試験日	募集人員
2026年10月入学（第二次募集）「注2」	社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	2026年7月10日（金）	若干名
2027年4月入学	推薦による選抜		6名程度
2027年4月入学（第一次募集）	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	2026年9月17日（木）	9名程度
2027年4月入学（第二次募集）「注2」		2027年1月20日（水）	
2027年10月入学（第一次募集）	社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜		若干名

- [注] 1. 専攻はすべて地域イノベーション学専攻となり、工学イノベーション・バイオイノベーション・社会イノベーションの3つのユニットで構成されています。
2. 第二次募集は、第一次募集で定員に満たなかった場合のみ行います。

2. 選抜の方法

※自然災害や感染症の拡大状況、その他の事情により選抜方法が変更になることがあります。

【推薦による選抜】

推薦による選抜の入学者の選抜は、書類審査（GPA 含む）、口述試験の結果を総合して行います。

選抜方法	時間	摘要
口述試験	13:30～	学修してきた内容を問うとともに、入学後の研究を実施するための基礎学力等の検査、修学意欲、目的、卒業論文、志願理由等について行います。

【一般選抜】・【外国人留学生特別選抜】

一般選抜及び外国人留学生特別選抜の入学者の選抜は、書類審査（GPA 含む）、学力検査、口述試験の結果を総合して行います。なお、学力検査はTOEIC®(Test of English for International Communication) 公開テスト及び各種団体が主催する TOEIC®IP テスト（各大学生協主催のカレッジ TOEIC®, 本学主催の TOEIC®IP テストを含みます）によって判定することとし、本人確認が可能なスコアシート（出願受付開始日から遡って5年以内のもの）のみ有効とします。

- [注] 1. TOEIC® Speaking&Writing Tests, TOEIC® Speaking Test, TOEIC Bridge®のスコアは評価の対象となりません。
2. TOEIC® 受験に係る費用は、志願者の自己負担となりますのでご了承ください。
3. 授業のための日本語力は必要です。

選抜の方法	時間	摘要
学力検査		出願受付開始日から遡って5年以内の TOEIC®公開テスト又は各種団体が主催する TOEIC®IP テストの本人確認が可能なスコアシートを出願時に提出してください。
口述試験	13:30～	学修してきた内容を問うとともに、入学後の研究を実施するための基礎学力等の検査、修学意欲、目的、卒業論文、志願理由等について行います。

【社会人特別選抜】

社会人特別選抜の入学者の選抜は、書類審査 (GPA 含む)、学力検査、口述試験の結果を総合して行います。なお、希望者は学力検査を TOEIC® (Test of English for International Communication) 公開テスト及び各種団体が主催する TOEIC®IP テスト (各大学生協主催のカレッジ TOEIC®, 本学主催の TOEIC®IP テストを含みます) による判定に替えることができます。

- [注] 1. TOEIC® Speaking&Writing Tests, TOEIC® Speaking Test, TOEIC Bridge®のスコアは評価の対象となりません。
2. TOEIC® 受験に係る費用は、志願者の自己負担となりますのでご了承ください。

選抜の方法	時間	摘要
学力検査	10:30~12:00	筆記試験 (英文読解) ※辞書 (1冊: 電子式は不可) の持ち込みを認めます。 <TOEIC®に替える場合は、以下となります。> 出願受付開始日から遡って5年以内の TOEIC®公開テスト又は各種団体が主催する TOEIC®IP テストの本人確認が可能なスコアシートを出願時に提出してください。
口述試験	13:30~	学修してきた内容を問うとともに、入学後の研究を実施するための基礎学力等の検査、修学意欲、目的、卒業論文、志願理由等について行います。

3. 出願資格

※下記の⑨、⑩に該当する者は、入学資格審査が必要です。

2026年10月入学志願者は「2027年3月31日」を「2026年9月30日」に、2027年10月入学志願者は「2027年3月31日」を「2027年9月30日」に読み替えてください。

【推薦による選抜】

下記の①~③のいずれかに該当する者で、志望するユニットに関する分野の学科・専攻等に在学し、学業成績が優秀な者として指導教員から推薦され、合格した場合には、2027年4月に入学を確約できる者

【一般選抜】

下記の①~⑩のいずれかに該当する者

【社会人特別選抜】

次の要件 A 又は B に該当する者で、下記の①~⑩のいずれかに該当する者

要件 A : 出願時において、企業等で1年以上勤務し、入学後も引き続き勤務が見込まれる者

要件 B : 要件 A に該当しない者で、入学時において1年以上の社会での経験を有する者

【外国人留学生特別選抜】

「留学」在留資格を取得又は取得見込みの者で、修学に必要な程度の日本語能力(※)があり、下記の①~⑩のいずれかに該当する者

※日本語能力試験 (JLPT) の N1資格を持っていることが望ましい。

- ① 学校教育法 (昭和22年法律第26号) 第83条第1項に定める大学の卒業生及び2027年3月31日までに卒業見込みの者

- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2027年3月31日までに授与される見込みの者
《大学改革支援・学位授与機構により学位を授与された者及び見込みの者をいいます。》
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 日本国において、外国の大学の課程（その修了者が当該国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するもの（下記一覧参照）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者
文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧（令和6年10月31日現在）
(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm)
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
《文部科学大臣の指定による、大学を卒業した者と同等の学力があると認められる者とは次の者をいいます。旧大学令による大学、旧高等師範学校規程による高等師範学校専攻科、旧師範教育令による高等師範学校・女子高等師範学校の修業年限1年以上の研究科、防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校の長期課程などの卒業（修了）及び2027年3月31日までに卒業（修了）見込みの者をいいます。》
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
《本研究科以外の大学院に飛び入学した者が本研究科において教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者をいいます。》
- ⑩ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに22歳に達する者

出願資格①～③により推薦による選抜で出願する志願者は、下記の書類を提出してください。
 ※各所定の様式は、本研究科ウェブサイトの「入試情報」からダウンロードしてください。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/applicants/examinee/>

出願書類<推薦>	摘 要	提出方法
出願確認票	インターネット出願サイトの出願登録完了画面から印刷してください。	郵送又は 持参
卒業見込み証明書	出身大学又は学校等の卒業見込み証明書 ※現在、本学に正規生として在籍する者は不要です。	
大学等の成績証明書	出身大学等の所定のもので、発行者において厳封したもの	
推薦書	【本研究科所定の様式】 在学大学等の指導教員が作成し、厳封したものを提出してください。	インターネット 出願登録時 アップロード
志願理由書	【本研究科所定の様式】 入学して勉学・研究を行いたいと考えた動機及び目的（計画）を1,000字程度で記入してください。	
研究業績の概要 （卒業論文要旨）	【本研究科所定の様式】 1,000字程度（図・表等を含めることも可）で執筆中の卒業論文の要旨を記入してください。研究の進行状況を記述したものでかまいません。	
国籍・在留資格を 証明できる書類	外国人留学生は、入国査証、在留カードの写し等を提出してください。	
入学検定料	30,000円 インターネット出願サイトの指示に従って、検定料をお支払いください。 ※日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要です。	

出願資格①～⑧により一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜で出願する志願者は，下記の書類を提出してください。

※各所定の様式は，本研究科ウェブサイトの「入試情報」からダウンロードしてください。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/applicants/examinee/>

○印の書類は全員が必要です。△は該当者のみ

出願書類	摘 要	方 法 提 出	一 般 選 抜	社 会 人 選 抜	外 国 人 選 抜	
出願確認票	インターネット出願サイトの出願登録完了画面から印刷してください。		○	○	○	
卒業(見込み)証明書	出身大学又は学校等の卒業(見込み)証明書 ※現在，本学に正規生として在籍する者は不要です。	郵送 又は 持参	○	○	○	
出身大学又は学校等の成績証明書	出身大学等の所定のもので，発行者において厳封したもの		○	○	○	
学位授与証明書又は学位授与見込みを証明する書類	出願資格②に該当する者は必要です。学位授与見込みの者は，短期大学長又は高等専門学校長が発行した学位授与申請(予定)証明書又は修了見込み証明書等の学位授与見込みを証明する書類。		△	△	△	
志願理由書	【本研究科所定の様式】 入学して勉学・研究を行いたいと考えた動機及び目的(計画)を1,000字程度で記入してください。	インターネット出願登録時アップロード	○	○	○	
研究業績の概要 (卒業論文等要旨可)	【本研究科所定の様式】 1,000字程度(図・表等を含めることも可)で出願者の研究業績(卒業論文も可)の概要を記入してください。 ただし，卒業見込みの者及び大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与される見込みの者は，研究の進行状況を記述したものでかまいません。		○	○	○	
研究成果資料	出願者の研究業績(著書，学術論文，学術報告，学会発表，特許等)がある場合は，それを示す資料を添付してください。 共同研究の場合は，出願者が担当した部分を明確に記載してください。		△	△	△	
TOEIC®スコアシート等	本人確認が可能なスコアシート(出願受付開始日から遡って5年以内のもの)を提出してください。 ※二次元コードのないスコアシートは，郵送又は持参で提出してください。 ※資料の返還を希望する場合は，提出資料返還願(任意様式)を提出してください。試験日以降に地域イノベーション学研究所チームにて返還します。		(TOEICスコアシートは，デジタル公式認定証のみアップロード可)	○	△	○
健康診断書	【本学所定の様式】(https://www.mie-u.ac.jp/exam/health/) 出願期間中に海外在住の者(日本国籍者含む)で，受験のために新たに渡日する者は，出願時から遡って6か月以内に作成された診断書を提出してください。		△	△	△	
国籍・在留資格を証明できる書類	外国人留学生は，入国査証，在留カードの写し等を提出してください。	△	△	○		
入学検定料	30,000円 インターネット出願サイトの指示に従って，検定料をお支払いください。 ※日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。		○	○	○	

4. 入学資格審査

出願資格⑨、⑩により一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜で出願しようとする入学志願者には、個別の入学資格審査を行います。事前に地域イノベーション学研究科チームへ照会してください。また、事前に志望する教育研究分野の教員又は指導予定教員と必ず連絡を取ってから出願してください。

1) 入学資格審査出願書類

※各所定の様式は、本研究科ウェブサイトの「入試情報」よりダウンロードしてください。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/applicants/examinee/>

○印の書類は全員が必要です。△は該当者のみ

出願書類 <入学資格審査>	摘 要	一般選抜	社会人選抜	外国人選抜
入学資格審査申請書	【本研究科所定の様式】 必要事項を記入してください。志望する指導教員に研究内容等を事前相談してから作成してください。	○	○	○
入学志願票		○	○	○
履歴書		○	○	○
出身大学又は学校等の成績証明書	出身大学等の所定のもので、発行者において厳封したもの	○	○	○
志願理由書	【本研究科所定の様式】 入学して勉学・研究を行いたいと考えた動機及び目的（計画）を1,000字程度で記入してください。	○	○	○
研究業績の概要	出願資格⑩に該当する者は必要です。 【本研究科所定の様式】 1,000字程度（図・表等を含めることも可）で作成してください。	△	△	△
研究成果資料	出願者の研究業績（著書、学術論文、学術報告、学会発表、特許等）に関する資料（共同研究の場合は、出願者が担当した部分を明確に記載してください。）又は上司による職場での実務経験を証明する文書を添付してください。	○	○	○
TOEIC®スコアシート等	本人確認が可能なスコアシート（出願受付開始日から遡って5年以内のもの）を提出してください。 資料の返還を希望する場合は、提出資料返還願（任意様式）を提出してください。試験日以降に地域イノベーション学研究科チームにて返還します。	○	△	○
健康診断書	【本学所定の様式】 (https://www.mie-u.ac.jp/exam/health/) 出願期間中に海外在住の者（日本国籍者含む）で、受験のために新たに渡日する者は、出願時から遡って6か月以内に作成された診断書を提出してください。	△	△	△
国籍・在留資格を証明できる書類	外国人留学生は、入国査証、在留カードの写し等を提出してください。	△	△	○

2) 入学資格審査 出願先

三重大学地域イノベーション学研究科チーム
(三重大学地域イノベーション研究開発拠点D棟1階)
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL : 059-231-9632

3) 入学資格審査書類提出期間

2026年10月入学 第二次募集 : 2026年4月27日 (月) ~2026年5月21日 (木)

2027年4月入学 第一次募集 : 2026年7月17日 (金) ~2026年7月30日 (木)

2027年4月入学 第二次募集及び2027年10月入学 第一次募集 : 2026年11月4日 (水) ~2026年11月19日 (木)

※受付時間は平日の9時から17時、郵送(簡易書留・速達郵便に限る。)の場合は期間内必着のこと。

4) 入学資格審査結果通知期日

2026年10月入学 第二次募集 : 2026年5月28日 (木) 以降

2027年4月入学 第一次募集 : 2026年8月4日 (火) 以降

2027年4月入学 第二次募集及び2027年10月入学 第一次募集 : 2026年11月26日 (木) 以降

5) 審査の結果「入学資格あり」と認定された方には、パスコードを発行します。パスコードは、入学資格審査出願書類に記載されたメールアドレス宛に送付します。指定期間内にパスコードを用いて、インターネット出願登録及び入学検定料(30,000円※)の振込手続きを行ってください(「5. 出願手続」参照)。

なお、インターネット出願登録時に書類を再提出する必要はありません。

※振込手数料が別途必要となります。

※日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。

6) 審査の結果「入学資格あり」と認定されたが諸般の事情により受験できなかった、受験したが不合格となった場合は、本年度内実施の入学試験に限り審査結果を有効とします。

5. 出願手続

< 注意 >

1. インターネットでの出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。書類提出期間内に必着となるよう、必要書類を簡易書留・速達で郵送するか、又は持参により提出してください。
2. インターネット出願サイトでの志願者情報登録後、48時間以内に入学検定料を支払う必要があります。(ただし、各インターネット出願登録期間最終日の17時までとなります。)
3. 上記1及び2を考慮し、余裕をもってインターネット出願を行ってください。

1) 出願の流れ

本研究科ウェブサイトから「インターネット出願サイト」にアクセスして掲載されている内容を確認のうえ、出願手続を行ってください。

「インターネット出願サイト」 <URL> <https://graduate-app.mie-u.ac.jp>

Step1	マイページの作成	パソコン・スマートフォン等で本研究科ウェブサイトから「インターネット出願サイト」にアクセスし、マイページを作成する。
Step2	インターネット出願登録	必要情報を入力、登録してください。
Step3	入学検定料 (30,000円) の支払い	インターネット出願サイトの指示に従って、検定料をお支払いください。
Step4	出願確認票等の印刷、必要書類等の提出	インターネット出願サイトから出願確認票等を印刷し、その他必要書類等とともに本研究科に郵送又は持参により提出してください。

2) 出願期間等

事 項	期 間		
	2026年7月10日 (金)	2026年9月17日 (木)	2027年1月20日 (水)
試験日			
インターネット出願登録	令和8年6月1日 (月) 10時から 6月12日 (金) 17時まで	令和8年8月17日 (月) 10時から 8月28日 (金) 17時まで	令和8年12月1日 (火) 10時から 12月14日 (月) 17時まで
入学検定料の支払い	インターネット入力後 48時間以内 ※ただし、 6月12日 (金) 17時まで	インターネット入力後 48時間以内 ※ただし、 8月28日 (金) 17時まで	インターネット入力後 48時間以内 ※ただし、 12月14日 (月) 17時まで
郵送又は持参による提出期間	令和8年6月1日 (月) から 6月19日 (金) 【必着】	令和8年8月17日 (月) から 9月4日 (金) 【必着】	令和8年12月1日 (火) から 12月21日 (月) 【必着】

注意事項

- 必要書類の提出方法は郵送又は持参とし、提出締切日は上記一覧のとおりです (本研究科必着)。郵便事情等を考慮の上、余裕をもって発送してください。
- 荒天や輸送事情等のトラブルなど志願者の責めに帰さない理由により、提出期間最終日までに到着しないことが想定される場合には、必ず提出期間最終日の17時までに地域イノベーション学研究科チームまでご連絡ください。
- 出願書類等を郵送にて提出する場合は、必ず簡易書留・速達で郵送してください。簡易書留・速達以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任は負いません。
- 郵送にて提出する場合、出願書類等が本学に到着したかどうかについてはお答えすることはできませんので、日本郵便ホームページ等の追跡サービスで確認してください。

3) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。

- ① 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願受付後に、出願無資格者であることが判明した場合
- ④ 大規模な風水災害等を理由に学長が認めた場合

(返還請求方法)

本学ウェブサイトに掲載されている「入学検定料の返還について」に従って、返還手続を速やかに行ってください。なお、返還手続には入学検定料「振込証明書」の原本が必要です。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/folder/>

【問合せ先・返還請求書送付先】

三重大学財務部財務企画チーム収入担当

TEL:059-231-9028 (平日9-17時)

E-mail: syunyu@ab.mie-u.ac.jp

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

4) 入学検定料の免除について

三重大学(以下「本学」という。)では、地震、事故及び台風等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、次のとおり入学検定料の免除の特例措置を講じます。

[対象者]

令和7年4月以降、災害救助法(昭和22年法律第118号)の適用を受けた地域で被災した者のうち、次のいずれかに該当するものとする。

- ① 主たる学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流出したもの
- ② 主たる学資負担者が死亡又は行方不明となったもの
- ③ 主たる学資負担者が失職した場合
- ④ 前三号に準ずる者であって、学長が相当と認めたもの

上記に該当される方は、「検定料免除申請書」を本学ウェブサイトの「入試情報」に掲載されている「入学検定料免除の特例措置について」(<https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/folder1/>)からダウンロードし、関係書類を添え出願書類に同封して出願受付開始の1週間前までに(必着)申請してください。書類の提出に関する問い合わせ等は、平日8時30分から17時15分の間に学務部入試チーム(電話059-231-9063)まで連絡してください。

6. 出願上の注意事項

- 1) 出願書類に記入漏れ等不備がある場合は、受理しないことがあります。
- 2) 出願書類等に虚偽の記載内容があった場合は、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがあります。
- 3) いったん受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- 4) 三重大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、国立大学法人三重大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究できない場合があります。

【参考】安全保障輸出管理(三重大学 HP) <https://www.crc.mie-u.ac.jp/rm/export/>

7. 障害等のある入学志願者との事前相談について

本研究科の入学志願者で、疾病・負傷や身体障害のため、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、下記の相談の時期までに下記の申請先に事前相談の申請をしてください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障害のある方の受験や修学を制限するものではありません。

1) 申請方法

電話によりあらかじめ地域イノベーション学研究科チームに連絡した上で、出願前相談申請書を郵送などの方法により提出してください。

出願前相談申請書の様式は、本研究科ウェブサイトの入試情報の出願書類よりダウンロードしてください。〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/applicants/examinee/>

参考として「医師の診断書（原本）」、「障害者手帳（写）」等を提出してください。

2) 申請先

三重大学地域イノベーション学研究科 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL：059-231-9632

3) 相談の時期（平日の9時から17時まで）

2026年10月入学 第二次募集・推薦：2026年5月29日（金）まで

2027年4月入学 第一次募集：2026年7月24日（金）まで

2027年4月入学 第二次募集及び2027年10月入学 第一次募集：2026年10月30日（金）まで

事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対象となる者
① 視 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> ・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> ・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢 体 不 自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病 弱	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発 達 障 害	<ul style="list-style-type: none"> ・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

[注] 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

4) 受験上の配慮の例

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ・試験場への乗用車の入構 | ・試験室を別室に設定 |
| ・車椅子の使用 | ・座席を最前列／最後列／出入口近く等に設定 |
| ・補聴器の使用 | ・試験室を障害者用トイレ近くに設定 |
| ・連絡事項の文書による伝達 | ・試験時間の延長 |

三重大大学の取り組み

本学では、「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部及び学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。詳細は以下のウェブページをご参照ください。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>

8. 受験票及び受験案内について

インターネット出願登録及び入学検定料の支払い手続きが完了すると、受験票を印刷できるようになります。 受験票は白色のA4用紙に印刷し、受験者氏名等が出願内容と相違ないか必ず確認のうえ、試験当日に必ず持参してください。

記載内容に誤りがある場合、又は出願手続完了後も受験票が印刷できない場合は、三重大学地域イノベーション学研究所チーム（電話：059-231-9632）まで連絡してください。

また、受験案内（注意事項を含む）は、試験開始の7日前までに本研究科ウェブサイトに掲載しますので、試験当日までに必ず確認してください。

なお、本研究科から受験票及び受験案内を郵送することはありません。

9. 受験に際しての注意事項

- 1) 試験当日は、「本研究科受験票」及び「受験案内」を必ず携帯し、試験室及び控室では白色のA4用紙に印刷された「本研究科受験票」を机の上に置いてください。携帯しない場合には、試験室及び控室へ入室することはできません。受験票を忘れた場合は、待機している係員に申し出てください。
- 2) 不測の事態の発生により、当初の予定どおり試験を実施できなくなった場合は、本研究科ウェブサイトのトップページにある「NEWS」（URL: <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/>）にてお知らせします。
- 3) 試験当日は、来学前にご自身にて体調確認をお願いします。当日の健康に不安のある方は、別室受験も可能ですのでご相談ください。
- 4) 試験当日は、試験開始時刻の10分前までに入室し、机に表示されている受験番号を確認して着席し、監督者の指示に従ってください。

- 5) 筆記試験開始30分以内の遅刻者は、直接試験室へ入室し、受験してください。筆記試験開始30分経過後の遅刻者は、試験室入口に待機している係員に申し出てください。
口述試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 6) 筆記試験開始から50分間は退室できません。途中退室した場合は、筆記試験終了後に、口述試験についての連絡があるため、筆記試験終了時刻に試験会場入口へ戻ってください。
試験中の体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、試験室以外での受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認めません。
- 7) 筆記試験中は、机の上には、受験票、辞書（1冊、電子式は不可）、黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフを除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬以外の所持品を置いてはいけません。なお、事情によっては、文字の書いていない下敷きの使用を認めることがあります。
- 8) スマートフォンや携帯電話等の電子機器類は、試験室及び控室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
試験時間中は、電子機器類はかばん等にしまう必要があります。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
口述試験の開始までの待機時間においても、スマートフォンや携帯電話等、外部との通信が可能な機器は使用できません。
- 9) 体調に異変がある場合や質問等がある場合は、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。
- 10) 本学試験場へは、試験当日、事前に許可された者以外の受験者は自動車での入構はできませんので、必ず公共の交通機関を利用してください。
なお、周辺商業施設及び道路への無断駐停車は絶対に行わないでください。
万が一、他車の通行の妨げとなる等の迷惑行為が発見された場合、警察に通報させていただくことがあります。

10. 不正行為の取扱いについて

1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。その他状況によっては警察に被害届を提出する場合があります。

- ① インターネット出願登録の際に虚偽の情報を入力したり、出願確認票に本人ではない写真を貼ったり、解答用紙に虚偽の記入をすること。
- ② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、電子辞書、及びICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑨ 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

2) 上記1) 以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。

- ① 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類やコンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような申し出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

11. 学力検査（筆記試験）及び口述試験の試験場

1) 学力検査（筆記試験）及び口述試験

三重大学地域イノベーション研究開発拠点 D 棟 4 階
地域イノベーション学研究科「第 1 講義室」「第 2 講義室」
〒514-8507 津市栗真町屋町1577

※入学試験会場となる D 棟以外への入館は控えてください。

2) 本学試験場への自動車の入構について

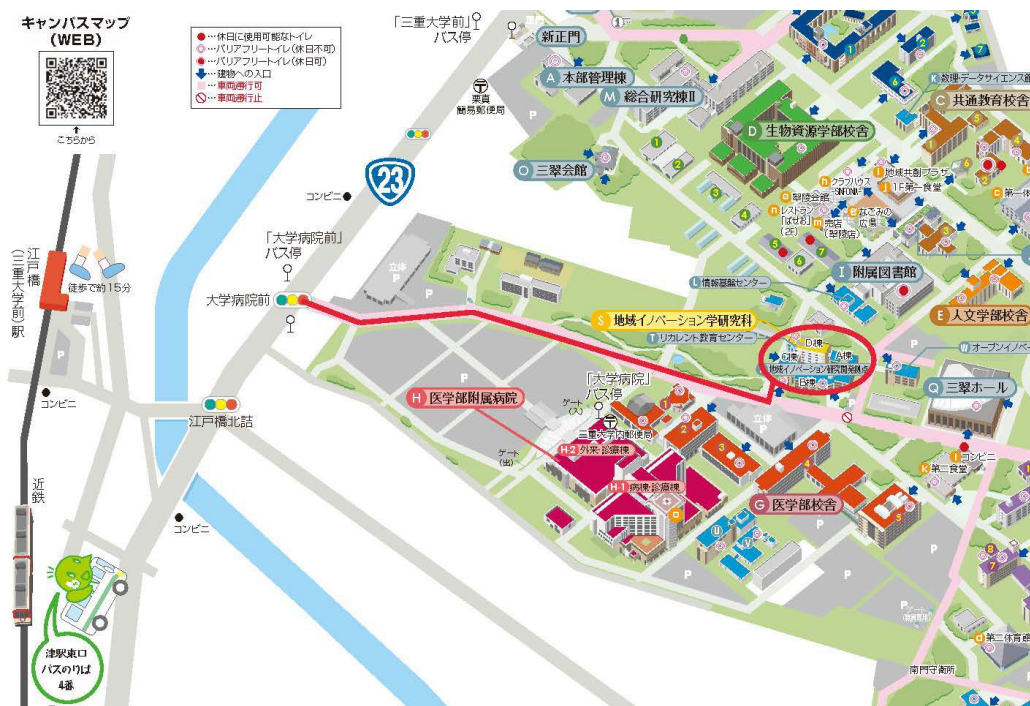
本学試験場へは、試験当日、事前に許可された者以外の受験者は自動車での入構はできませんので、必ず公共の交通機関を利用してください。

なお、周辺地域への交通渋滞防止の観点から、自家用車による送迎はご遠慮願います。

また、周辺商業施設及び道路への無断駐停車は絶対に行わないでください。

万が一、他車の通行の妨げとなる等の迷惑行為が発見された場合、警察に通報させていただくことがあります。

3) 試験場案内図



駐車場の事情により車での来学はご遠慮ください。
本学へのアクセスについては、右の二次元コード又は下記 URL よりご覧ください。
<https://www.mie-u.ac.jp/about/overview/access/index.html>



12. 配点・評価基準

以下の1)～3)の結果に基づき、総合的に評価します。

1) 書類審査（全選抜）

学部の成績を基に、3段階で評価します。

2) 学力検査

①TOEIC スコアによる判定

TOEIC500点を60点として、スコアを100点満点に換算します。

②筆記試験（英文読解）による判定

専門分野に関連する内容の英文資料を用いた読解試験を実施し、語学力を100点満点で評価します。

3) 口述試験（全選抜）

「志願理由」、「地域イノベーション学研究科の教育に関する理解」、「専門知識」及び「その他の重要項目（修学意欲、考える力、コミュニケーション力）」などについて質疑応答を行った結果を基に、5段階で評価します。

13. 過去の入学試験問題について

三重大学地域イノベーション学研究科事務室において、過去3年間の学力検査問題を閲覧できます。希望される場合は、問題のコピーをお渡しすることも可能です。

14. 合格発表

1) 合格者の発表は、次表のとおり行います。

区分	合格発表	発表方法
2026年10月入学（第二次募集）「注1」 2027年4月入学（推薦による選抜）	2026年7月24日（金） 午前10時頃	地域イノベーション学研究科の掲示板へ合格者の受験番号を掲示します。 併せて、合格者には合格通知書を、合格発表後に郵送（発表当日の発送（速達））します。
2027年4月入学（第一次募集）	2026年10月2日（金） 午前10時頃	
2027年4月入学（第二次募集）「注1」 2027年10月入学（第一次募集）	2027年1月29日（金） 午前10時頃	

[注] 1. 第二次募集は、第一次募集で定員に満たなかった場合のみ行います。

2) 電話等による可否の問い合わせには、一切応じられません。

3) 合格者の受験番号は本研究科ウェブサイトの「NEWS」にも掲載しますが、これは情報提供の一環として行うものです。公式の合格発表は、掲示板での掲示及び郵送による通知となります。

本研究科ウェブサイト：〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/>

15. 入学手続

入学手続に必要な書類は、7月及び9月実施入試合格者に対しては2027年1月上旬（10月入学は2026年9月上旬）、1月実施入試合格者に対しては2027年2月上旬（10月入学は2027年9月上旬）に送付します。

留意事項

- ① 所定の入学手続期間内に入学手続を完了しない合格者は、入学を辞退したものとして取扱います。
 - ② 在職者は、所属長の入学承諾書が必要です。
- 詳細は入学手続の際にご確認ください。

16. 入学料及び授業料

- ①入学料：282,000円（予定額）
- ②授業料：前期分 267,900円（予定額）
（年 額 535,800円）（予定額）

[注] 1. ①②とも国費外国人留学生は不要です。

2. 在学中に授業料の改定が行われた場合には改定された新授業料が適用されます。

17. 入学料及び授業料の免除・徴収猶予，奨学金について

1) 入学料及び授業料の免除・徴収猶予について

学業成績が優秀で、経済的理由により入学料及び授業料の納付が期限までに困難な方、又はその他特別な事情があると認められる方については、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料及び授業料の免除又は納付の猶予を認める制度があります。

入学料の免除・徴収猶予について詳細は、入学手続き時にご案内します。

授業料の免除・徴収猶予について詳細は三重大学ウェブサイトよりご確認ください。

<https://www.mie-u.ac.jp/life/support/menjyo/>

窓口：学生支援チーム授業料免除担当 TEL 059-231-9678（9:00～17:00）

2) 奨学金について

学業成績及び人物ともに優れた学生で、経済的理由により修学が困難な方には、日本学生支援機構、地方公共団体及び民間育英団体等の奨学金制度があります。

日本学生支援機構奨学金は、大学院進学前に大学等で申し込む「予約採用」のほか、大学院進学後に申し込むことが可能ですので、詳細は三重大学ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.mie-u.ac.jp/life/support/syougaku/>

18. 追加合格, 欠員補充について

1) 追加合格

2027年2月19日（金）以降に、入学手続完了者が入学定員に満たない場合、追加合格により欠員を補充することがあります。対象は、当該年度実施入試不合格者です。

追加合格該当者には、2027年2月24日（水）から3月26日（金）までの間に、当研究科から電話により出願確認票に記載の連絡先にお知らせします。不合格となった場合でも、連絡の取れる状態にしてください。追加合格者の入学手続は、電話連絡した際にお知らせします。

2) 欠員補充第3次募集

追加合格により欠員を補充しても、入学手続完了者が入学定員に満たない場合、欠員補充のための第3次募集を実施します。

追加合格、欠員補充第3次募集の実施状況等については、本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/applicants/examinee/>

19. 個人情報の利用目的について

1) 本学における個人情報の利用

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用目的は次のとおりです。

- ① 入学者選抜に関わる業務で利用します。
- ② 検定料の返還が生じた際に関わる業務、その他志願者への連絡業務で利用します。
- ③ 合格者の住所・氏名等を入学手続に関わる業務、その他志願者への連絡業務で利用します。
- ④ 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務並びに健康診断等の保健管理に関わる業務で利用します。
- ⑤ 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に関わる業務で利用します。
- ⑥ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に関わる業務で利用します。
- ⑦ 入学手続者の修学指導等に関わる業務に利用します。
- ⑧ 個人が特定できない形で、統計処理等に付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究及び広報活動等の業務で利用します。
- ⑨ （対象者かつ希望者のみ）障害等のある入学志願者との事前相談において取得した氏名、性別、生年月日、住所及び障害等に係る個人情報を、本学に入学した場合に限り修学支援業務で利用します。

2) 本学が取得した個人情報は、法で定められた場合を除き、本人の同意を得ることなく、上記以外の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

20. 長期履修学生制度について（要申請）

長期履修学生制度は、職業等に從事しながら、個人の事情に応じて、柔軟に標準修業年限（2年）を超えて履修し学位等を取得できるようにする制度です。

長期履修学生として認められる修業年限は最大4年となります。それぞれの年（学期）に支払う授業料は、2年間（標準修業年限）に支払うべき授業料総額をあらかじめ認められた修業年限で除した額となります。（下記【授業料の納入例】参照）

長期履修を希望する者は、申請期限内（4月入学は2月20日、10月入学は8月20日、いずれも当該日が休日等の場合は翌平日）に「長期履修申請書（本研究科所定の様式）」及び「在職証明書等（在職証明書又はそれに準ずる書類）」を提出する必要があります。長期履修申請書（本研究科所定の様式）は、事前に下記事務室へ請求してください。

長期履修申請の審査結果は後日、合格者本人に通知します。

【授業料の納入例】

標準修業年限（2年）

1年目 (535,800円)	2年目 (535,800円)	授業料総額 1,071,600円

①出願時に申請し、3年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (357,200円)	2年目 (357,200円)	3年目 (357,200円)	授業料総額 1,071,600円

$$1,071,600円 \div 3年 = 357,200円（1年間の授業料）$$

②出願時に申請し、4年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (267,900円)	2年目 (267,900円)	3年目 (267,900円)	4年目 (267,900円)	授業料総額 1,071,600円

$$1,071,600円 \div 4年 = 267,900円（1年間の授業料）$$

長期履修学生制度についての詳細は、下記事務室へお問い合わせください。

三重大学地域イノベーション学研究科チーム

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL : 059-231-9632 FAX : 059-231-9956

21. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要望が高まっています。しかし、通常の方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は標準で2年間その勤務を離れて就学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されています。

このため大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人の就学に特別措置を行うことが配慮されています。

これを踏まえ、本研究科では、大学院での履修を希望する社会人を積極的に受け入れるため、概ね次のように実施します。

1) 授業等の実施方法

- ① 通常の授業時間帯の他に、平日は夜間の11・12時限（18:00～19:30）、休日は土曜日の第1～8時限（8:50～16:10）の間に授業を受けることができます。
- ② 夏期休業中などの長期休暇を利用して集中授業を受けることもできます。
- ③ 講義の一部については自宅学修により履修できます。
- ④ 上記による場合は、指導を希望する教員と十分相談の上、実施可能な履修計画を立ててください。

2) 研究内容と場所

- ① 社会人学生の研究は、本研究科の指導教員の指導によって実施し、その内容は公表されることとなります。教員の選んだテーマ以外にも、教員の了解を得て、勤務先等での研究体験を通して選んだテーマで研究を行うこともできます。
- ② 研究を全うするために、大学にない特殊な研究設備などを必要とする場合には、本研究科の研究室以外に、許可が得られれば他研究科、勤務先等の施設や設備を利用することが認められています。

22. 教員免許について

本研究科において、教育職員免許状の取得はできません。

23. 三重大学私費外国人特待留学生制度（入学料及び授業料免除型）募集要項

1) 概要

三重大学では、優秀な留学生を受け入れるため、入学料及び授業料を標準修業年限の間、全額免除する三重大学独自の奨学制度を2019年度より設けております。2027年度の採用予定人員は、6名（各研究科1名）です。

2) 応募資格

以下の①～④すべてを満たすこと。

- ① 三重大学大学院に入学予定であり、日本に在留する間の在留資格が「留学」であること。なお、海外の大学から留学する者のほか、申請時に本学に在籍（正規生、非正規生問わず）している者で新たに入学予定の者も対象になる。
- ② 私費外国人留学生であること。（国費（文部科学省）留学生及び外国政府派遣留学生は対象ではない）
- ③ 学業、人物ともに優れており、心身ともに健康であること
- ④ 国際戦略機構から依頼する三重大学が実施する各種行事や調査等に参加、協力すること

3) 申請方法、申請締め切り

申請には推薦書が必要となるため、受入予定教員又は下記事務室に問い合わせてください。

4) 奨学金と奨学期間

奨学金の種類：入学料及び授業料免除型

- ① 奨学金額：入学料 282,000円（予定額）を全額免除
授業料 博士・博士後期課程の場合 520,800円（予定額）を全額免除
修士・博士前期課程の場合 535,800円（予定額）を全額免除
- ② 奨学（免除）期間：標準修業年限

5) 選考方法及び選考結果の発表について

地域イノベーション学研究科選考会議にて、入試成績・研究業績を総合して選考します。
なお、採否通知はメールにてお知らせいたします。

6) 留意事項

当該特待生に採用後、虚偽の申請が発覚した場合や特待生としてふさわしくない行為があった場合は、それまでに免除した授業料の全額を返還（納付）するものとします。また、学業成績不振の場合は、免除を停止することがあります。

7) 本件問い合わせ先

三重大学地域イノベーション学研究科事務室
TEL：059-231-9632
FAX：059-231-9956
E-mail：innov-jimu@ab.mie-u.ac.jp

24. 教育研究分野

本研究科は、次表の専任教員の教育研究分野以外に、本学の他の研究科の教員との共同研究も推進しており、種々の分野を融合した新しい境界領域を教育研究します。

専任教員 (2026年4月現在)

ユニット	担当教員	役割	研究分野の内容
工学イノベーション	教授 水藤 弘 吏	R&D	スポーツ科学, 体育・身体教育学, スポーツバイオメカニクス
	教授 西村 訓 弘	PM	地域イノベーション学, トランスレーショナル医科学
	教授 橋本 忠 範	R&D	無機化学, 無機材料化学, 機能性材料化学
	教授 丸山 直 樹	R&D	熱流体工学, 伝熱工学, 環境工学, エネルギー変換工学
	准教授 八神 寿 徳	PM	知的財産マネジメント, 技術移転, 計算科学, 流体工学
	助教 Thiri Shoon Wai	R&D	Heat transfer, Air conditioning control, Environmental Engineering, Energy conversion system, Thermal and fluid engineering, Modelling and simulation
バイオイノベーション	教授 大山 暁 男	R&D	植物栽培生理学, 植物ゲノミクス, 植物遺伝育種学
	教授 諏訪部 圭 太	R&D	植物育種学, 植物分子遺伝学, 植物細胞生物学
	教授 野中 章 久	R&D	農業経済学, 農業経営学, 農業情報研究
	准教授 加賀谷 安 章	R&D	植物生理学, 植物分子生物学, 植物分子遺伝学
	准教授 狩野 幹 人	PM	食品工学, 分光分析, 知的財産マネジメント, 技術移転マネジメント, リスクマネジメント
社会イノベーション	教授 青木 雅 生	R&D	経営学, 経営史, 研究開発マネジメント論, 中小企業論
	教授 安食 和 宏	R&D	人文地理学, 農山村地理学
	教授 浜田 吉 司	PM	経営学, 地域イノベーション論
	教授 松田 裕 子	R&D	農業経済学, 地域政策学
	教授 森 久 綱	R&D	農業経済論 (生産材市場), 資源循環システム論
	准教授 加藤 貴 也	PM	バイオメカニクス, バイオエンジニアリング, 産学官連携,アントレプレナーシップ論
	准教授 水木 千 春	R&D	集落地理学, 歴史地理学, 地域防災論

25. 連携大学院

三重大学大学院地域イノベーション学研究科は、大学院教育の実施にあたり、株式会社浅井農園と連携して連携大学院を設置しています（R7.4.1設置）。

連携大学院方式について

連携大学院方式とは、連携する研究機関がもつ高度な研究水準（施設・設備・人的資源〔技術・方法論〕）を活用して大学院教育を行うもので、連携機関からは研究者が連携大学院の連携教員として教育研究に参加するとともに、当該機関においても学生を受け入れ、学生に対する研究指導を行います。

担 当 教 員	役割	研究分野の内容
連携教授 浅井 雄一郎 (株式会社浅井農園)	R&D PM	先端農業経営学, 植物工場システム学, 地域イノベーション学
連携准教授 中島 正登 (株式会社浅井農園)	R&D	園芸学 (施設園芸・果樹), 植物生理学
連携准教授 澁谷 九輝 (株式会社浅井農園)	R&D	施設園芸工学, 光計測学

26. 博士前期課程の学位取得までの履修モデル

履修モデル①

工学イノベーションユニット（博士前期課程）			
研究テーマ：学生の自主性を高める次世代 e ラーニングシステムの開発			
<p style="text-align: center;">特別研究の進め方</p> <p>本プロジェクトでは、情報科学を専門とする R&D 教員が主指導者として研究指導を行い、データマイニングを専門とする R&D 教員が指導を補助することで、学生の情報発信能力を向上させる支援ツールを付加した次世代 e ラーニングシステムを開発するために必要な要素技術の研究を行う。さらに、PM 教員が特別研究に加わり、関連する産業界の分析を行わせることで研究成果の応用ターゲットを設定させ、特別研究の成果を実用化するための研究開発プロジェクトについて実践的な戦略と手順を考察・立案させる。</p>			
<p style="text-align: center;">修了後の進路予定</p> <p>○情報システム企業における次世代 e ラーニングシステムの開発担当者 ○情報ネットワーク企業における次世代 e ラーニングシステム向けネットワークシステムの開発担当者</p>			
<p style="text-align: center;">修了要件</p> <p>「共通科目」14単位、「専門科目」から14単位以上、「特別研究」10単位の合計38単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>			
科目群	共通科目 (必修・選択：14単位)	専門科目 (必修・選択：14単位以上)	特別研究 (必修：10単位)
	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	工学イノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎科学特論 (2単位) ○地域イノベーション学基礎特論 (2単位) ○プロジェクトマネジメント演習 I (2単位) ○企業経営特論 (1単位) ○研究開発倫理特論 (1単位) 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ研修 I (4単位) ○各特論2単位×4科目=8単位 <ul style="list-style-type: none"> ・工学知的財産特論 ・バイオ基礎特論 ・社会経営基礎特論 ・工学イノベーション特論Ⅲ～Ⅴ ○工学イノベーション専門英語 I・II・IV・V (2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別研究 I (4単位) <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ○地域イノベーション実践特論 (2単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2単位) ○英語口頭発表 (1単位) ○英語論文作成 (1単位) 		<ul style="list-style-type: none"> ○特別研究 II (6単位) <ul style="list-style-type: none"> ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ
授与する学位： 修士（学術）			

※掲載の履修モデルは令和7年度現在のものです。

履修モデル②

バイオイノベーションユニット（博士前期課程）

研究テーマ：生体遺伝子と免疫応答，ストレス応答の分子機構の解明

特別研究の進め方

本プロジェクトでは、植物科学を専門とする R&D 教員が主指導者として研究指導を行い、農学系バイオサイエンスを専門とする R&D 教員が指導を補助することで、免疫応答性を強化することでストレス耐性を高めた植物品種を開発するために必要な要素技術の研究を行う。さらに、PM 教員が特別研究に加わり、関連する産業界の分析を行わせることで研究成果の応用ターゲットを設定させ、特別研究の成果を実用化するための研究開発プロジェクトについて実践的な戦略と手順を考察・立案させる。

修了後の進路予定

- 県の農業系職員として作物の病害を管理する担当者
- 国際展開するアグリビジネス企業におけるストレス耐性植物品種の開発担当者

修了要件

「共通科目」14単位，「専門科目」から14単位以上，「特別研究」10単位の合計38単位以上を修得し，かつ必要な論文指導を受けた上で，地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

科目群	共通科目 (必修・選択：14単位)	専門科目 (必修・選択：14単位以上)	特別研究 (必修：10単位)
	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	植物系バイオイノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎科学特論 (2単位) ○地域イノベーション学基礎特論 (2単位) ○プロジェクトマネジメント演習 I (2単位) ○企業経営特論 (1単位) ○研究開発倫理特論 (1単位) ○国際コミュニケーション I (1単位) 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ研修 I (4単位) ○各特論2単位×4科目=8単位 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオ知的財産特論 ・工学基礎特論 ・社会経営基礎特論 ・バイオイノベーション特論Ⅱ～Ⅵ ○バイオイノベーション専門英語 I・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ (2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別研究 I (4単位) <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ○地域イノベーション実践特論 (2単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2単位) ○国際コミュニケーション II (1単位) 		<ul style="list-style-type: none"> ○特別研究 II (6単位) <ul style="list-style-type: none"> ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士（学術）

※掲載の履修モデルは令和7年度現在のものです。

履修モデル③

社会イノベーションユニット（博士前期課程）

研究テーマ： 地域の特産品に含まれる新規健康機能性成分の探索
<p>特別研究の進め方</p> <p>本プロジェクトでは、食品の健康機能性成分を専門とする PM 教員が主指導者となり、生物系学部を卒業した一般学生の指導を行い、マーケティングを専門とする R&D 教員が指導を補助する。社会が求める食品の健康効果について社会科学的な分析を実施するとともに、地域の食品会社における半年間の長期インターンシップを履修することにより、地域における食品会社起業の可能性と課題を実践的に理解する。これらの実践的な分析と経験から、ターゲットとして特定された健康効果の分析方法を開発し、地域の特産品をスクリーニングして知財になりうる新規の健康成分を探索する研究を実施する。</p>
<p>修了後の進路予定</p> <p>○地域の特産物に含まれる健康成分を利用した製品を製造販売する企業の設立者 ○大学院地域イノベーション学研究科博士後期課程への進学</p>

<p>修了要件</p> <p>「共通科目」14単位、「専門科目」から14単位以上、「特別研究」10単位の合計38単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>
--

	共通科目 (必修・選択：14単位)	専門科目 (選択必修・選択：14単位以上)	特別研究 (必修：10単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	社会イノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサードイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎科学特論 (2単位) ○地域イノベーション学基礎特論 (2単位) ○企業経営特論 (1単位) ○研究開発倫理特論 (1単位) *以上を反転授業として履修 ○プロジェクトマネジメント演習 I (2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ研修 I (4単位) ○各特論2単位×4科目=8単位 ・工学基礎特論 ・バイオ基礎特論 ・社会イノベーション特論 I～IV・VI ・地域連携特論 I・II (各1単位) ○社会イノベーション専門英語 I～IV (2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別研究 I (4単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ○地域イノベーション実践特論 (2単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2単位) ○英語口頭発表 (1単位) ○英語論文作成 (1単位) 		<ul style="list-style-type: none"> ○特別研究 II (6単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士（学術）

※掲載の履修モデルは令和7年度現在のものです。

履修モデル④

社会イノベーションユニット（博士前期課程）			
研究テーマ： 地域にエネルギーを供給するバイオマス発電事業の実証研究			
<p style="text-align: center;">特別研究の進め方</p> <p>本プロジェクトでは、新エネルギーを専門とする PM 教員が主指導者となり、電力会社で管理職として勤務する社会人学生の指導を行い、世界のエネルギー政策を専門とする R&D 教員が指導を補助する。バイオマスを用いた新エネルギー開発に関連する世界の動向を分析させることにより、グローバルな視点からエネルギー政策の現状を俯瞰させ、地域のエネルギー供給のあり方について深く考察させる。これを基礎とし、PM 教員と電力会社との共同研究を題材として、バイオマスエネルギーを事業化する新プロジェクトを職場で提案するための実践的な研究を実施する。</p>			
<p style="text-align: center;">修了後の進路予定</p> <p>○勤務する電力会社における経営者層の候補者 ○勤務する電力会社が創設するバイオマス発電事業を行う社内ベンチャーの経営者</p>			
<p style="text-align: center;">修了要件</p> <p>「共通科目」14単位、「専門科目」から14単位以上、「特別研究」10単位の合計38単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p>			
	共通科目 (必修・選択：14単位)	専門科目 (選択必修・選択：14単位以上)	特別研究 (必修：10単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	社会イノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎科学特論 (2単位) ○地域イノベーション学基礎特論 (2単位) ○企業経営特論 (1単位) ○研究開発倫理特論 (1単位) *以上を反転授業として履修 ○プロジェクトマネジメント演習 I (2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会連携実践 (4単位) ○各特論2単位×4科目=8単位 ・工学基礎特論 ・バイオ基礎特論 ・社会経営基礎特論 ・社会イノベーション特論 I～IV・VI ・地域連携特論 I・II (各1単位) ○社会イノベーション専門英語 I～IV (2単位) 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別研究 I (4単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ○地域イノベーション実践特論 (2単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2単位) ○英語論文作成 (1単位) ○英語口頭発表 (1単位) 		<ul style="list-style-type: none"> ○特別研究 II (6単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ
授与する学位： 修士（学術）			

※掲載の履修モデルは令和7年度現在のものです。

27. その他

本研究科学生募集要項に明記されている内容や期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、本研究科ウェブサイト（〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/>）に対応の詳細を速やかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は、三重大学大学院地域イノベーション学研究科チーム（電話 059-231-9632）です。

28. 各種問合せ先

各種問い合わせは下記により行ってください。

問い合わせ時間等 月曜日から金曜日（祝日、年末年始及び夏季休業日は除く。）
9時から17時まで

○地域イノベーション学研究科の入学試験に関すること

三重大学地域イノベーション学研究科チーム TEL 059-231-9632

E-mail innov-jimu@ab.mie-u.ac.jp

（入学試験に関する問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。）

○奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9061

○入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9678

○学生寮に関すること

三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-5371

○入学料及び授業料納付に関すること

三重大学財務部財務企画チーム TEL 059-231-9028

三重大学大学院地域イノベーション学研究科チーム

（三重大学地域イノベーション研究開発拠点D棟1階）

〒514-8507

津市栗真町屋町1577

TEL 059-231-9632

FAX 059-231-9956



本研究科ウェブサイトの「入試情報」をご覧ください。

〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/innovation/applicants/examinee/>